

(様式第5号)

相対契約の場合 記入例

利用権設定等申出書

捨 印	捨 印
日南	農林

令和 2 年 〇 月 〇 日

受 付 欄

注) 下欄の聴き取り確認事項は農林水産省が毎年実施する「農地権利移動・借賃等調査」(農業経営基盤強化促進法に基づき、1年間に移動した農地の実態を把握するための調査)のために使用します。

* 該当欄に○を付けてください

日南町長 〇

上段が耕作者です。

農業経営基盤強化促進法の規定に基づき、農地利用集積計画書に基づき、農地利用集積計画書のとおりに申し出します。

利用権設定を受ける者 (借受人)	地 区	氏 名 又 は 名 称	生 年 月 日			電話番号
	生山	日南 太郎	日南	明大昭平	45年 10月 8日	0859-82-1114
利用権を設定する者 (貸付人)	地 区	氏 名 又 は 名 称	生 年 月 日			電話番号
	霞	農林 花子	農林	明大昭平	28年 10月 7日	0859-82-1902

下段が地権者です。

聴き取り確認事項

1. 権利の種類

賃借権の設定 (通年)	1	○
賃借権の設定 (期間借地)	2	
賃借権の移転	3	
使用賃借権の設定 (通年)	4	
使用賃借権の設定 (期間借地)	5	
使用賃借権による権利の移転	6	
経営受委託	7	

2. 農地所有適格法人以外の法人等の取得

該当しない	1	○
賃貸借等解除条件の適用	2	

3. 農地所有者代理事業活用の有無

有	1	
無	2	○

4. 共有農地に係る持分の1/2を超える
同意の活用の有無 (存続期間は20年以内)

有	1	
無	2	○

10. 15年以上の借受期間を設定した農用地等については、土地改良法(昭和24年法律第195号)第87条の3第1項の土地改良事業が行われることがある旨の説明を受けました。 □

5及び6. 借受人の分類 (個人・法人別及び法人の形態別)

5. 個人・法人別		○				
		1	2	3	4	5
		個 人	農地所有適格法人	農地中間管理機構	農地利用集積円滑化団体	その他法人
6. 法人の形態別	1	株式会社				
	2	特例有限会社				
	3	持分会社（合資・合名・合同）				
	4	農事組合法人				
	5	NPO法人				
	6	農協・農協連合会				
	7	市町村				
	8	財団法人・社団法人				
	9	学校、医療、社会福祉法人				
	10	その他				

8. 経営改善計画認定の有無

有	1	○
無	2	

9. 貸付人の分類 (個人・法人別)

個人	1	○
法人	農地所有適格法人	2
	農地中間管理機構	3
	農地利用集積円滑化団体	4
	その他の法人	5

7. 経営耕地面積

経営農地なし	1	
0.3ha未満	2	
0.3ha以上～0.5ha未満	3	
0.5ha以上～1.0ha未満	4	
1.0ha以上～2.0ha未満	5	
2.0ha以上～3.0ha未満	6	
3.0ha以上～4.0ha未満	7	
4.0ha以上～5.0ha未満	8	
5.0ha以上～10ha未満	9	
10ha以上～15ha未満	10	
15ha以上～20ha未満	11	
20ha以上～30ha未満	12	
30ha以上～50ha未満	13	
50ha以上～100ha未満	14	
100ha以上	15	

注 1) 経営耕地面積は利用権設定を受ける前の規模です。

注 2) 借受人が農地中間管理機構及び農地利用集積円滑化団体が農地取得者となる場合は「経営農地なし」となります。

あっせん農業委員・推進委員署名欄

利用権設定（移転・転貸及び経営委託を除く）関係農用地利用集積計画

捨 印	捨 印
日南	農林

上段が耕作者です。

1. 各筆明細

農用地利用集積計画書

受付コード					利用権の設定を受ける者(A)	氏名(名称)	日南 太郎	住所	日南町生山1234	同意印	日南	区 分	地 区	世 帯	農協名
						変更		変更							
公告年月日		年	月	日	利用権を設定する者(B)	氏名(名称)	農林 花子	住所	日南町霞800	同意印	農林	区 分	地 区	世 帯	農協名
						変更		変更							
登 録	1 新 規	2 再設定			代理人	下段が地権者です。									

利用権を設定する土地 (C)					設定する利用権(D)							利用権設定等促進事業の実施により成立する利用権の設定等に係る当事者間の法律関係 (E)	(B)以外の権原者等(F)				備 考	賃借料情報の区分
No.	区 域	所 在 地 (大字、字、地番)	現 況 地 目	面 積 (㎡)	内 容 (作物名等)	始 期 年月日	終 期 年月日	存 続 期 間	10a 当り 借 賃	借賃の 支 払 方 法	利用権 の 種 類		住 所	氏名又は 名 称	権原 種類	同意印		
1		霞小字役場の前1234	田	1,000 (920)	水稻	令和2年 4月1日	令和5年 1月31日	2年10月	水張反当 5,000円	口座振込	賃借権	基盤強化法						
2		霞小字役場の前1241	田	1,200 (1,000)	水稻				水張反当 米30kg	耕作者が 地権者へ 直接届ける								
3		霞小字役場の前1240	原野	100 (0)	—													
4		霞小字役場の前1241	田	600 (500)	水稻				無償	無	使用貸借							
5																		

・原野とは、畦畔などのことを指します。
・面積のうち、上段は登記面積で、カッコ内が水張面積です。

・契約期間や賃借料について、双方で十分に話し合ってください。
・「10a当り」ではなく「全体」の場合は、「全体〇〇円」「全体米〇〇kg」と記載してください。
例：全体 3万円、全体 米90kg
・無償で農地を貸借りする場合は、利用権の種類に「使用貸借」と記

・耕作者の方の農業経営の状況や農機具の所有状況など、分かる範囲で記載してください。

- 2 共通事項 別紙のとおり
- 3 当該農地の契約期間が満了し返還する場合の申し合わせ事項（該当するものにチェック）
- ☒ 共通事項のとおり「現状回復」して返還する
- ☐ 「耕起」して返還する。
- ☐ その他（

4 利用権設定等を受ける者（借受人）の農業経営の状況等

整理番号		氏名又は名称 (変更の場合)		性 別 (変更の場合)	男 ・ 女	生年月日 (変更の場合)	明 大 昭 平 令	年	月	日	農作業従事日数 (変更の場合)	日		
					男 ・ 女		明 大 昭 平 令	年	月	日			日	
今回利用権の設定等を受ける土地の面積 (A) ㎡	現に耕作または養畜の事業に供している農用地の面積 (B) ㎡		主たる経営作物(C) (販売額が第1位の作物)	世帯員（構成員）の農作業従事者及び雇用労働力の状況 (D)							主な家畜の飼養状況 (E)		主な農機具の所有状況 (F)	
農地	農地	自作地		世帯員 (構成員)	農業従事者（うち15歳～60歳未満の者）				雇用労働力 (年間延日数)	種類	数量	種類	数量	
採草放牧地	農地	借入地	男	人	農業専従者 (変更)	男	女	合計	()	人 日				
その他	採草地		女	人	補助	主として農業に従事する者 人 () 主として農業に従事する者 人 ()								